

高校生ICT Conference 2021

高校生がICTの活用について考えました

in
長野

◇日時：2021年10月9日（土）12:30-17:00◇会場：オンライン開催

【開催テーマ】「フェイクを見極める」

今年度も「高校生ICTカンファレンス長野大会」が開催され、20名の高校生がオンラインで集まりました。テーマについて事前に各学校で準備したプレゼンテーションを行い、その後、3グループに分かれて「熟議」を行いました。高校生はオンラインミーティングで、GoogleJamboardを使って情報を共有しながら「ネットとフェイクの関係」について、他の参加者の意見を吸収しながら理解を深め、「どうすればフェイクを見極め、ネットを上手に活用できるか」について考えました。また、松本工業高校が長野県代表として「ICTサミット」（全国大会）に参加しました。

「熟議で上がった高校生の声」

○なぜフェイクが生まれるのか？

- ・人を困らせて快感を得たい
- ・面白半分
- ・承認欲求
- ・正義感による善意の交錯
- ・相手の事が羨ましく陥りたい

○ネットとフェイクに親和性があるのはどうして？

- ・困ったらネットにすぐ頼るから
- ・暮しと密接だから
- ・匿名だから
- ・即共有できる(嘘の真偽を確かめられない)から
- ・言いやすから

○ネットのフェイクに騙されないためには？

- ・自分が変だなと思った直感を大切に
- ・一度怪しいと思ったら立ち止まって最初から疑ってかかる
- ・ネットから離れて考える
- ・ネット以外の情報源をもつ
- ・視野を広げて考える
- ・一つの情報を鵜呑みにしない
- ・自分の考えを軸において、冷静になってネットを使う
- ・多くの情報を取り入れ、様々なプラットフォームや情報の比較を行う

※閉会式の集合写真。



「各校の提言」*発表順

情報社会で生活をしている以上フェイクに騙されてしまうことは少なからずあるから、どんな記事がフェイクなのか、どういった情報が正しいのかという情報に対する免疫力を培うことが大切

<松川高校>

法整備→SNS等によるフェイクニュースの拡散は犯罪となるようにする
相談センター→電話受付だけではなく、LINEなどのアプリケーションを使い、気軽に相談できるように

<松本美須ヶ丘高校>

世の中の情報量が増え、さらにフェイクを作る技術も向上した。正しい情報を手に入れる、見抜ける免疫力を身につけることが必要

<明科高校>

- ・情報の正確さでランク付けをした「まとめサイト」を作り、それを見ることでフェイクを見破れるようにする
- ・アニメーション動画による注意喚起

<松本工業高校>

「各学校のプレゼンテーション」*発表順

ICTをうまく活用するために
どうすればいいか

- ・疑いの心を持つ
- ・周りがやっているからと流されない
- ・自分にメリットのある記事など信頼の目を持つ
- ・安易に拡散しない
- ・常口論から信頼を築く
- ・匿名などをして書いてしまう人がいることを前提から考えておく
- ・情報社会で生活している以上フェイクに騙されてしまうことは避けられないから、どういった記事がフェイクなのかといった情報が正しいのかという情報に対する免疫力を培うことが大切

*松川高校

アンケートを取ってみると...

- ・42人中21人が回答
- ・21人中18人が本当
- ・3人が嘘

真偽アンケート

アンダーラインの文章とグラフが
矛盾していることを皆さんは
見破られたでしょうか？

■ 本当 ■ 嘘

*松本美須ヶ丘高校

フェイクに対して

したいこと

- ・まとめサイト
- ・アニメーション動画による注意喚起

*松本工業高校

そうした中で出た投稿

悪意のあるツイートとは思えません。

逆に

県民の不安を早く和らげたいという

善意の気持ちの表れだったと思います。

*明科高校

インターネットを使う当事者として、適正な利用についてあなたも考えてみましょう